



西千葉 アトリエ カフェ

ぴりーぶ

みやざき しげみ
宮崎 重美 さん



「西千葉アトリエ カフェ ぴりーぶ」を2020年1月にオープンさせた宮崎さん。赤ちゃんから高齢者まで、障がいのある人、無い人、すべての人が集える場所をつくりたい。そして、そこは「やってみたい！」を実現するための場所、地域の人たちの交流拠点。息子である画家の「Ryota」さんとその母の夢が詰まった「ぴりーぶ」から、宮崎さんの思いをお届けします。

——カフェをやりたい

若いときは幼稚園に勤めていて、息子と下の娘の子育てが始まり、幼稚園を辞め、子育てが終わった後は、保育所の非常勤として勤めていました。「ぴりーぶ」を始めるきっかけは、色々あるのですが、



漠然とカフェをやりたいと思っていたのが、最初です。その後、20年ぐらい前に、クロネコヤマトの福祉財団が障がい者の自立支援と社会参加の支援を目的として開いたスワンベーカーリー赤坂店の店長さんの講演を聞きまして、一層カフェを開きたいと思っていました。

——息子のアトリエを作りたい

息子は絵を描きだす前に、小さいころから粘土が大好きでした。私がカフェをどうしてもやりたいていうのから流れて、粘土と同じパンが焼けたら良いねって、パン屋さんのカフェをやりたいと思って、息子は高校を卒業してパン屋さんに就職しました。

就職したと同時にその給料で、自宅の近くに古いアパートを借りて、アトリエにしたのですが、仕事の休みの日以外は何も使わない。それで私が障がいのある子のお母さんたちと集まって、そのころやっていた、バザーとかフリマの準備とかに使っていたのですが、場所が不便でなかなか集まらない、活用できていなかった。アトリエが有って、その周りでカフェをやれば、上手くいくのではないかと思い、息子のアトリエも兼ねてカフェを開こうと思ったのがアトリエカフェのきっかけですね。

——地域の人が集まる交流拠点

赤ちゃんから高齢者まで、障がいのある人、無い人、みんなが集える場所を作りたい、ふらっと一人で、来たいときに立ち寄れるカフェ、入口にいろんな情報が貼ってありますが、情報交換したり、おしゃべりしたり、そういう地域の居場所にしたい。いろんなイベントもやって、集まれるところにしたい。交流拠点が「ぴりーぶ」と言って頂けるのを目標にしています。

——やってみたいを実現する場所

金～日はコミュニティカフェ、月～木はレンタルスペースにしています。コロナ下で、家でお菓子を作る方が多くなったようですが、そのお菓子をマルシェに出て売るとか、ネットで販売するとか、ちょっとやってみたい方を、小さいキッチンですが、食品営業許可証（菓子製造業等）他がおりているので、サポートできています。

利用者は、男性の方もいらっしゃいますけど、ほぼ女性です。「ワンテーブルレンタル」というのも有り、カフェ営業中に小さいワークショップをやりたい方に、ワンテーブルをお貸しして、お試してやる人が多くなっています。是非やってみてください。やってみたいを実現する場所です。



——販売だけではないレンタルBOX

うちのレンタルBOXは無料でお貸ししていて、販売した場合にだけお金を頂いているのですが、なんとなく来て、ここだったら出せるかなと、ここに初めてお店を出す方もいます。そうすると他のレンタルBOXの方達との交流がうまく、繋がりができています。

障がい者の団体が作ったものを販売しているものもあります。販売が目的だけではなく、こういう団体が有るのだからってということをお知らせするため、活動紹介としての役割も果たします。

レンタル期間は1年ですが、大体継続するので、空くののを待っている方が多くいます。全体的に買いやすい値段で小さい子ども達にも、とても人気のBOXがたくさんあります。見ているだけでとても楽しい場所です。うん、みんなで楽しんでいるって感じですね。



ぴりーぶBOX (レンタル)

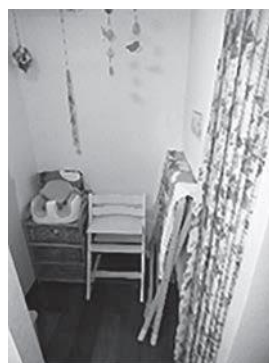
——みんなが創るイベント「ぴりーぶ寄席」

奇数月は天草小六さんという方が中心になっている、千葉楽笑クラブ。アマチュアの方達ですが、この小六さんがお客さんで、コロナの前から何回か来て、ここで寄席ができればいいねという話をして、カフェのテーブルを四つつなげて、高座にして、落語をやって貰っています。いつものお客様の他に落語を聞きに来る高齢者の方、すぐ近くにある老人ホームの方も見に来てくださり、満員御礼になっています。

偶数月は発表会の形で、落語じゃなく、みんなの発表をしようということで、手品とかジャグリングとか、ウクレレやってくれる人もいて、三歳の女の子も手品や絵本の朗読をしたり、やりたいことをやって、やる人が増えちゃって、学芸会のようにみんなで楽しんでいます。

——「ぴりーぶマルシェ」

「ぴりーぶマルシェ」は、レンタルBOXを借りている方たちが、違う感じで販売できるので、順番で6店舗出て、その他にカウンターでお菓子の方とランチの方、うちがドリンク担当。店頭では協力して下さる方の新鮮野菜を販売しています。他にワークショップとか毎回いろんなイベントが有って、例えば、お茶屋さんが、抹茶のかき氷を作るとか、最近は千葉大のボランティア活動支援団体のC-volの方たちが来てくれて、縁日コーナーでゲームを一つずつ考えて、盛り上げてくれています。



カフェ内の授乳室



津久井温美さん 月一回、ベビーマッサージ教室・ハーブティーの会、こどものあそび場担当

——「ぴりーぶ」での苦勞？

運営ですかね、でも苦勞って思わなくて、うちの目的はまず、息子のアトリエを作るってことだったし、皆さんの交流で、少しずつ、ぴりーぶのことを覚えてくださって来て頂き、ここで繋がった皆さんが、一緒に楽しんで、喜んでくれているのを見るのは、すごい喜びなので苦勞にはなっていないと感じています。



西千葉アトリエカフェ ぴりーぶ



Facebook



instagram